

2021. 10. 29 <計2枚>

草津市政記者クラブ加盟社 各位

立命館大学広報課

大学ではどんな研究をしているの？
大学院生が研究の面白さ・魅力を発信
【BKC ライスボールセミナー】11月のご案内

立命館大学は、大学院生が自身の最新の研究成果を発表する「BKC ライスボールセミナー」を、11月に5回にわたり、オンライン（Zoom ウェビナー）で開催します。

本セミナーでは、10月から1月の期間、2021年度文部科学省「科学技術イノベーション創出に向けた大学フェロシップ創設事業」の採択により実施している「立命館大学 NEXT フェロシップ・プログラム」の博士後期課程学生が、最新の研究成果や研究の面白さをわかりやすく解説します。11月は本学の大学院体験イベント「大学院ウィーク※」期間でもあることから、通常よりも多い5人の化学・情報工学・薬学・生物工学を研究する大学院生が発表します。

本テーマにご関心がある方をはじめ、大学で展開する研究内容や研究の面白さ・魅力に興味をお持ちの方のご参加をお待ちしております。

※大学院ウィーク(11/8～11/21)の詳細は、下記をご覧ください。

http://www.ritsumei.ac.jp/gr/exam_event/information/#section0

記

■ BKC ライスボールセミナー2021年11月概要

日時	テーマ	発表者	専門
11月2日(火) 12:20～12:45	円偏光発光材料の創製とその発光特性の制御	生命科学研究所 博士課程後期課程1回生 吉田悟	有機化学 ・光化学
11月9日(火) 12:20～12:45	画像処理と深層学習を用いた古典籍の整理	理工学研究所 博士課程後期課程1回生 Lyu Bing	人工知能
11月18日(木) 12:20～12:45	核酸塩基を有する新規ビアリアル化合物の開発	薬学研究所 博士課程後期課程1回生 荘司俊貴	創薬科学
11月25日(木) 12:20～12:45	硫黄で息をする微生物	生命科学研究所 博士課程後期課程1回生 藤田大樹	生物工学
11月30日(火) 12:20～12:45	半透明な立体視ってどんな感じ？	情報理工学研究所 博士課程後期課程1回生 青井大門	CG (コンピュータグラフィックス)

会場：オンライン（Zoom ウェビナー）

内容：詳細は別紙参照。

対象：どなたでもご参加いただけます。

参加費：無料

参加方法：申込不要。時間になりましたら下記に掲載の URL からご参加ください。

http://www.ritsumei.ac.jp/gr/2021bkc_rbs_chirashi.pdf?version=

衣笠キャンパス、大阪いばらきキャンパスでは、下記のとおり開催します。

http://www.ritsumei.ac.jp/gr/exam_event/information/riceball/#rb_kinu

以上

●取材・内容についてのお問い合わせ先

立命館大学 BKC リサーチオフィス ライスボールセミナー事務局 TEL.077-561-2802

別紙

■セミナー内容詳細

(1)「円偏光発光材料の創製とその発光特性の制御」

持続的な社会を築く上で、光科学技術が果たす役割や必要性は極めて大きく、中でも近年は「円偏光発光」が注目を集めています。その応用例である 3D ディスプレイの開発に向けた円偏光発光材料の創製というテーマで研究内容をご紹介します。

登壇者：生命科学研究所 博士課程後期課程 1 回生 吉田悟

(2)「画像処理と深層学習を用いた古典籍の整理」

日本古典籍は、ほとんどが「くずし字」で記録されています。くずし字は現在では使われておらず、バリエーションも多く、読める人が非常に少ないため、文字の認識と古典籍の整理は非常に困難といわれています。AI 技術と画像処理を用いて、日本古文献を解読する研究をご紹介します。

登壇者：理工学研究科 博士課程後期課程 1 回生 Lyu Bing

(3)「核酸塩基を有する新規ビアリアル化合物の開発」

核酸塩基を有する「ビアリアル化合物」は、医薬品や農薬、機能性有機材料などに多く、その効率的な合成手法の開発が重要とされています。本研究では、独自に開発した反応条件を用いて成功した、核酸塩基を有する新規ビアリアル化合物の合成についてお話しします。

登壇者：薬学研究科 博士課程後期課程 1 回生 荘司俊貴

(4)「硫黄で息をする微生物」

硫黄はすべての生物が生きるために必要不可欠であり、自然界における硫黄の獲得は常に競争です。「息の仕方」を変えることで競争に生き残ってきた微生物の生存戦略についてお話しします。

登壇者：生命科学研究所 博士課程後期課程 1 回生 藤田大樹

(5)「半透明な立体視ってどんな感じ？」

半透明で立体的な画像を投影する「半透明立体視」についての研究を行っています。構造が把握しやすく、中身も見ることができ一方で、奥行き情報が見づらいついた問題もあり、どのように投影すれば改善できるのかをテーマにお話しします。

登壇者：情報理工学研究科 博士課程後期課程 1 回生 青井大門

■立命館大学 NEXT フェローシップ・プログラムについて

立命館大学では、文部科学省の「科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ創設事業」の採択を受け、2021 年度より、優秀で意欲の高い博士後期課程の学生を「立命館大学 NEXT フェローシップ・プログラム生」として採用しています。本プログラムは、プログラム生が、本学の研究拠点において、先端的で多様な分野の研究人財と協働しながら、研究活動に従事することで、自らの専門性を深めながら幅広い視点を獲得することを目指しています。また、研究支援のみならず、博士後期課程修了に向けたキャリア形成に対する支援も行っています。

WEB サイト： <http://www.ritsumeai.ac.jp/next-fs/>

■ライスボールセミナーについて

若手研究者や大学院生が自身の最新の研究成果を発表し、お昼の時間に軽食をとりながら、フリーディスカッションを行うセミナー。2007 年に教職員間の研究交流の場として開始し、現在では、専門分野を越えた研究者や学生間の交流促進、研究活動の創出など、次世代を担う若手研究者の育成の取り組みの一環として開催しています。